

西木の 夏祭り

戸沢氏祭



西木村誕生40周年を契機に創作された「戸沢氏祭」。西木の夏祭りとして定着し、今年で12回目を数えるこの祭りが、8月17日、桧木内川河川公園を主会場に開催されました。

戸沢氏と家臣団に扮したお家行列一行は、戸沢氏に縁のある真山寺で小山田ささらの舞のあと出陣祈願を行い、門屋城址へ向かって出陣。門屋城址では西根ささらの舞と神事が行われ、領民に扮した西明寺中学生と婦人会の皆さんが行列に加わり、総勢約200名が時代絵巻を展開し主会場まで練り歩きました。

主会場では、魚のつかみ捕りや超神ネイガーション、戸沢ささらの舞、和楽器兄弟ユニット「安藤兄弟」の迫力のある演奏が披露され祭りを盛り上げました。

陽が沈みあたりが暗くなり始めると、盆踊りと園児たちによる灯籠流しが行われました。最後に大花火大会が行われ、夜空を大輪の花で彩りました。



小山田ささら



西根ささら



安藤兄弟



戸沢ささら



くりっこ太鼓も参加



超神ナイガーと握手



魚のつかみ捕り



盆踊り



灯籠流し

先祖の霊を供養し、五穀豊穡を願う

送り盆の
伝統行事

角館のささら舞



角館の送り盆行事「ささら舞」が8月15日、角館町内各所で行われました。

午後2時から、白岩雲巖寺や樺細工伝承館、午後6時から立町ポケットパークを会場に広久内ささら、白岩ささら、堂野口ささらが順に披露されました。

ささら舞は、佐竹家がお国替えの時、佐竹家中の士から伝授されたと伝えられ、400年以上の歴史を持ち、現在は、先祖の霊の供養と五穀豊穡を願う伝統芸能として传承されています。

3匹の獅子による勇壮な舞と、大きな面を被った「オーセイ」、ひょっとこの面を被った「ザツツアカ」のユーモラスな踊りに、たくさんの観光客や市民のみさんから大きな拍手が送られました。

また、今年は角館音頭踊ろう会のメンバーによる「踊りパレード」も行われ、飛び入り参加などもあり賑わいました。

